

AWS活動報告書 2025

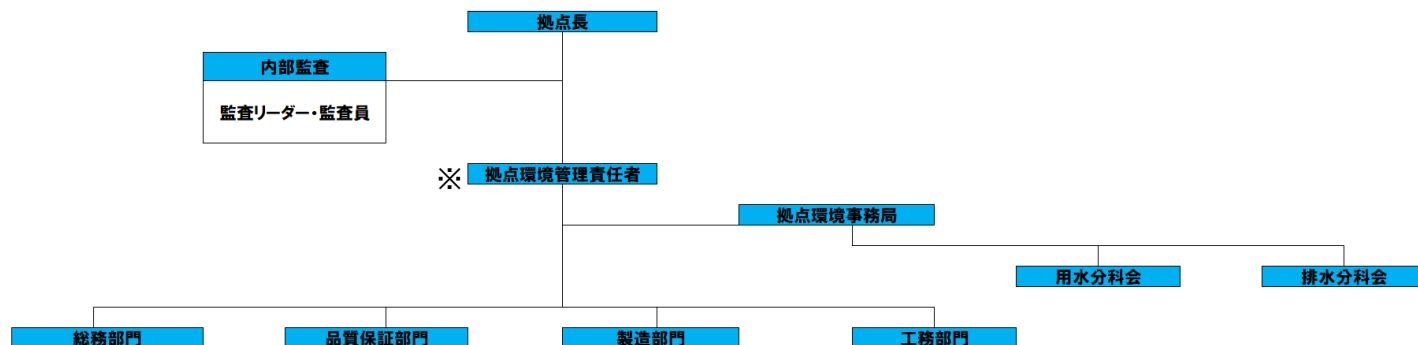


サントリープロダクツ株式会社 サントリー天然水北アルプス信濃の森工場

所在地	〒398-0004 長野県大町市常盤8071-1
主要生産品目等	清涼飲料製造
認証取得	2025年～
認証レベル	Platinum



ガバナンス体制（AWS国際規格該当箇所:5.1）



※拠点環境管理責任者が水関連法規制の遵守責任者である

ウォーター・スチュワードシップ活動の概要

関連する共通の水の課題※ AWS国際規格1.6	目標 AWS国際規格2.3	パフォーマンス目標 AWS国際規格2.3	2025年取組/パフォーマンス AWS国際規格3.5/3.9/5.3	利害関係者エンゲージメント AWS国際規格5.4
地下水・淡水資源の枯渇	「水資源に関連する重要区域」である「天然水の森北アルプス」の地下水涵養機能の維持・向上、および生物多様性の保全・向上	林床植生の回復による透水性の高い健全な土壌環境整備。中でも大町市有林におけるカラマツ人工林での間伐工リアでの植生回復 ・高木層の種数（基準2024年）を2倍に増やす（7種→14種） ・低木の植物の種数（基準2024年）を2倍に増やす（13種→26種） ・材の有効活用	単年目標：中期目標に向けた進捗確認 ・高木層の種数（基準2024年）は7種→8種 ・低木の植物の種数（基準2024年）は13種→15種となり、目標に向けて順調に推移 ・材の有効活用については、搬出したカラマツは大町市総合運動公園のベンチに、クリはたけのご保育園のウッドデッキに活用	「天然水の森 北アルプス」として協定している 長野県、大町市、国土交通省関東地方整備局長野国道事務所に毎年の活動状況を提出
地下水・淡水資源の枯渇	地域コミュニティの参画意欲および活動認知を高める。	2030年までに水の啓発・安全な水の提供を合わせて500万人以上に提供する（サントリーグループ全体目標）に寄与	単年目標：2030年目標達成に向け、実態に合わせて前年並みで実施 実績：前年並みで実施し目標達成 ・森と水の学校北アルプス校：12回 360名 ・水育授業+工場見学：10校 411名 令和7年度内閣官房水循環政策本部事務局の「水循環企業登録・認証制度」において、「水循環ACTIVE企業」に認証された。	—
地下水・淡水資源の枯渇	水の使用量を継続的に削減する。	2030年グループ目標：グループ全体2015年比で水使用原単位を35%削減	単年目標：水原単位を前年比で良化 2025年実績：水原単位12%良化（前年比） ・可変湯水制御の確実な運用により、水使用量を削減	大町市事業用井戸届
排水による河川の水質汚濁	地域に還す排水水質を適切な状態に保つ。	長野県排水基準で定められている排水の規制（基準）値を継続的に満たす。	単年目標：信頼性インシデント発生0件 排水基準遵守100% ・信頼性低下インシデント発生件数0件 ・排水基準遵守100% により、排水水質を適切な状態に保っている。	法令および条例に基づいた排水の水質規制
地下水・淡水資源の汚染	周辺地域の汚染の早期発見、工場用水への影響の未然防止、およびその影響の極小化のための情報収集方法を明確にし、リスク規程で定めるアクションを速やかに実施できるようにする。	『土壌汚染・水質汚染の疑い（周辺地域からの影響の可能性）情報収集活動ガイドライン』に基づいた調査の実施	単年目標：汚染リスク情報収集を年1回実施 ・汚染リスク情報収集：1回/年 特にリスクなし	—
安全な水と衛生環境の確保	安全な上水の供給と、清潔な衛生設備の提供	1．サイト内に上水を常時供給する。 2．サイト内のトイレ使用を常時可能にする。	単年目標：生活水タンク点検と水道水質検査を年1回実施 1 および 2 ・生活水タンクの点検1回/年 ・水道水質検査の実施1回/年 により、により適切に維持できている。	・飲用井戸等衛生対策要領 ・事務所則 ・安衛則
生態系や文化的価値ある流域の保護／生物多様性の保全・向上	国営公園の自然保護と猛禽類の営巣に向けた環境整備、それに関する情報発信	国営アルプスあづみ公園の保全ゾーンにおける森林保全・生態系保護・環境学習を継続することで公園の自然保護に貢献 ・短期的には、営巣候補木周辺の下刈り ・長期的には小面積皆伐と再造林を通じたアカマツ林の更新 ・天然水の森HPを通じた活動の周知、各種媒体を通じた発信	単年目標：：中期目標に向けた進捗確認 ・営巣候補木周辺の下刈りを行い、猛禽類の営巣環境を整えた。（営巣は確認できなかった） ・アカマツ林更新に向け、予定していたエリアの間伐は実施。次年度以降実施するエリアのステークホルダー向けに、活動意義や内容について2回現地説明会を実施 以上により2025年目標を達成	「天然水の森 北アルプス」として協定している 長野県、大町市、国土交通省関東地方整備局長野国道事務所に毎年の活動状況を提出
生態系や文化的価値ある流域の保護	文化的価値への貢献	八王子神社の環境整備の継続により貢献	単年目標：神社の周辺清掃を年1回実施 ・25年年始参拝を実施 ・25年周辺清掃を実施 1回/年	—
地域との協働による水ガバナンスの強化	地下水の適正な利活用に向けた取組みを産官学での連携・推進	1．信濃おおまちみずのわプロジェクトへの参画を継続する。 2．大町市の水と地下水環境保全協議会の設立・運用を継続する。	単年目標：かき氷プロジェクトの継続・推進 協議会設立総会の開催 1．天然水とコラボしたかき氷プロジェクトの継続・推進 2．協議会設立と総会の実施 25年5月協議会設立総会実施 25年12月地下水モニタリング実施	・信濃おおまちみずのわプロジェクト ・大町市の水と地下水環境保全協議会
地域との協働による水ガバナンスの強化	近隣水域に関わる主要ステークホルダーとのコミュニケーションによる協働体制の構築	サントリー信濃の森工場連絡協議会を継続する。	単年目標：協議会を年1回実施 25年8月協議会の実施 水に関連する課題に対する要望は、挙がっていない。	サントリー信濃の森工場連絡協議会

※検討の結果、直面している共有する水の課題はない。但し、地下水・淡水資源の枯渇や排水による河川の水質汚染を懸念している。

水の利用（対象期間：2025年1月1日～12月31日）

【インプット】

種 類	単 位	消費量
用水 (揚水・購入量)	千m ³	508

【アウトプット】				
種 類			単 位	消費量
排水 (公共水域放流)	量		千m ³	208
	pH	規制	—	5.8~8.6
		自主基準	—	6.0~8.4
		実測値	—	7.3~7.9
		実測平均	—	7.6
	BOD	規制	mg/ℓ	20以下
		自主基準	mg/ℓ	16以下
		実測値	mg/ℓ	0.5~1.1
		実測平均	mg/ℓ	0.7